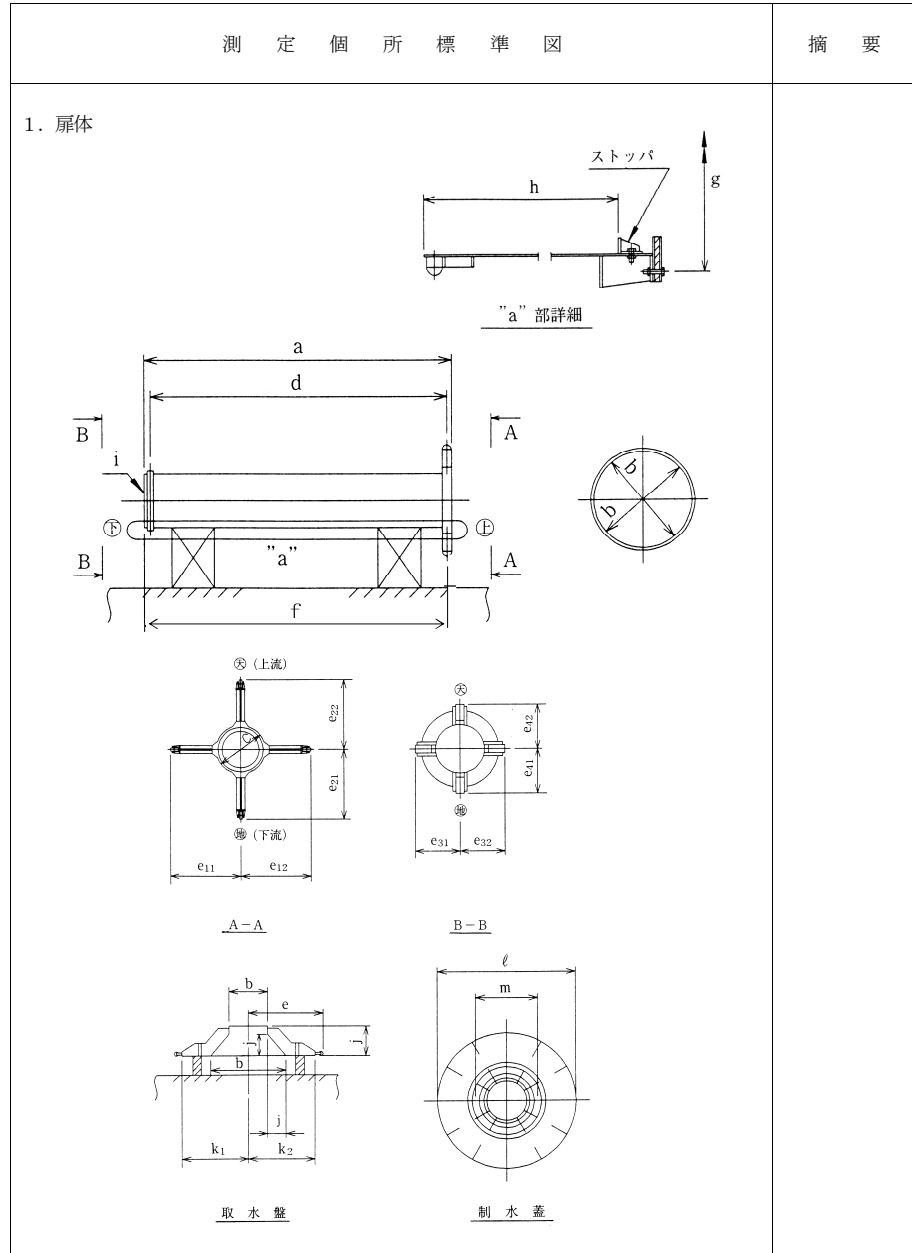


(6) 円形多段式ゲート

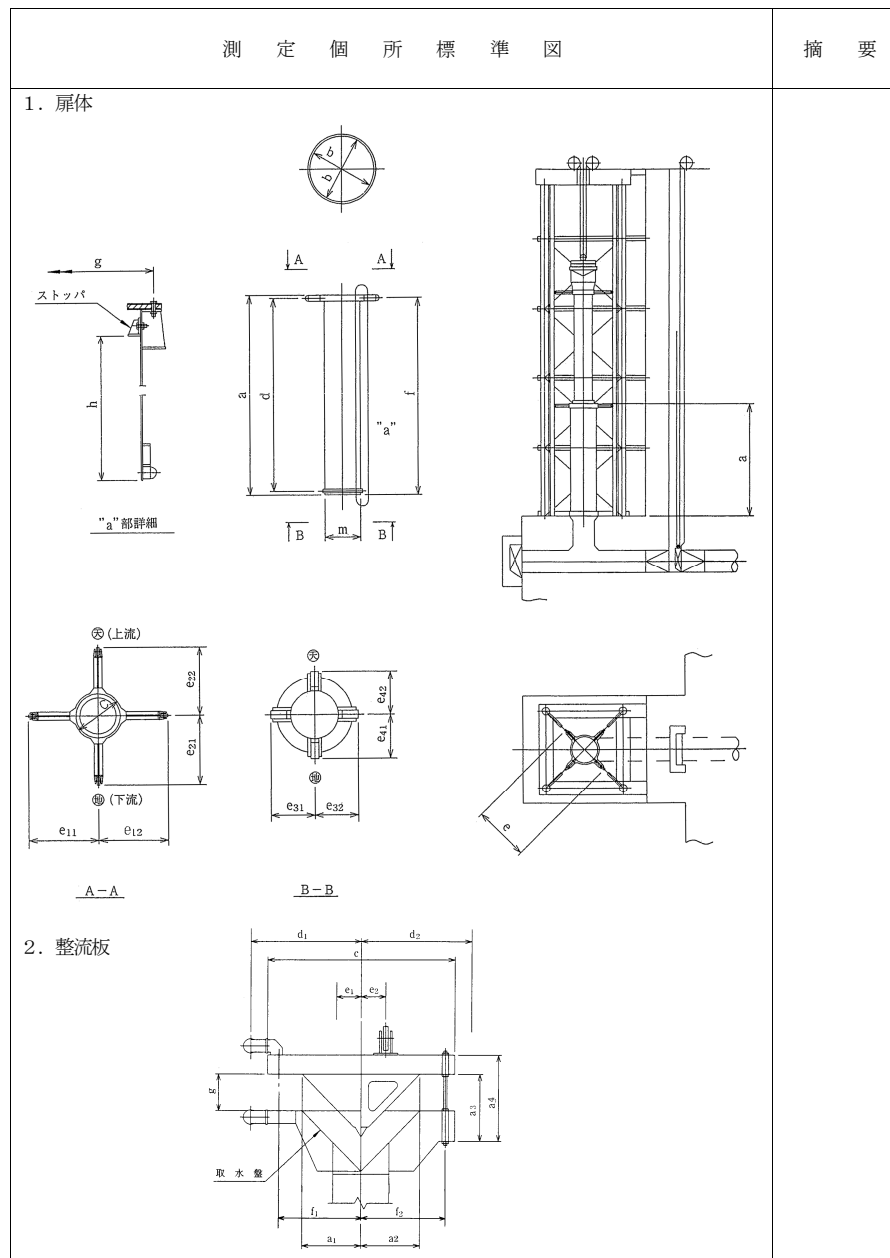
工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準		
水門設備 2. ダム用水門設備 (6) 円形多段式ゲート (製作)	1. 扉体	A	扉体高さ (a)	± 10	4箇所を鋼製巻尺で測定する。	
		A	扉体内径 (b)	D<1.5 ± 5 1.5≦D≦3.0 ± 15 3.0<D ± 20	上下各2箇所を鋼製巻尺で測定する。	D : 径 (m)
		A	扉体補強リング外径 (c)	D<1.5 ± 5 1.5≦D≦3.0 ± 15 3.0<D ± 20	2箇所を鋼製巻尺で測定する。	
		A	扉体補強リング間隔 (d)	± 10	4箇所を鋼製巻尺で測定する。	
		B	ガイドローラ間距離 (e)	± 5	鋼製巻尺で測定する。	
		A	ガイドローラから扉体下端までの距離 (f)	± 10	鋼製巻尺で測定する。	
		B	水密ゴム押えボルト PCD 径 (g)	D<1.5 ± 5 1.5≦D≦3.0 ± 15 3.0<D ± 20	鋼製巻尺で測定する。	D : 径 (m)
		B	ストップから扉体下端までの距離 (h)	± 10	鋼製巻尺で測定する。	
		A	底部の曲がり (i)	± 5	レベル、金属製直尺等で測定する。 (下段扉着床の場合)	
		A	取水盤呑口形状寸法 (j)	± 3	金属製直尺等で測定する。	
		A	取水盤張出し外径 (k)	± 5	鋼製巻尺で測定する。	
		A	制水蓋の外径 (ℓ)	± 10	鋼製巻尺で測定する。	
		B	制水蓋と下段扉底部との取合い寸法 (m)	± 5	鋼製巻尺で測定する。 (下段扉側/制水蓋側)	



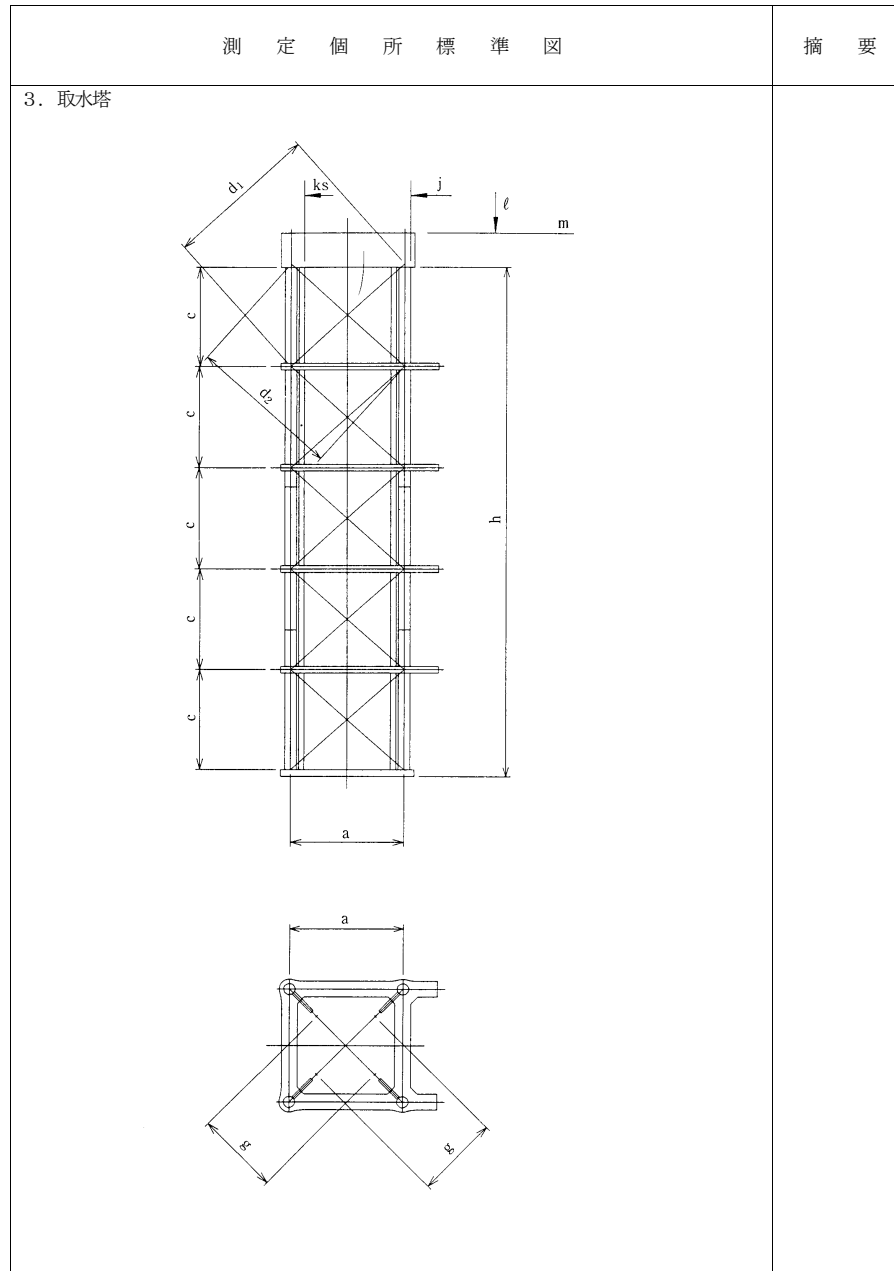
工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準			
水門設備 2. ダム用水門設備 (6) 円形多段式ゲート(製作)	2. 整流板	A	整流板形状 (a)	±5	各4箇所を鋼製巻尺で測定する。		
		A	整流板傾斜角 または曲面形状 (b)	±3°	各4箇所を分度器、金属製直尺等で測定する。原寸形板、すきまゲージ等で測定する。		
		A	整流板外径 (c)	±10	2箇所を鋼製巻尺で測定する。		
		A	整流板中心からローラ中心までの距離 (d)	±5	鋼製巻尺で測定する。		
		B	シートの間隔 (e)	±5	鋼製巻尺で測定する。		
		B	連結ロッドの間隔 (f)	±3 (f L、f R)	鋼製巻尺で測定する。		
	3. 取水塔	A	支柱間隔 (a)	±10	鋼製巻尺で測定する。		
		A	支柱の長さ (b)	±10	高さ20mごとにトランシット、鋼製巻尺で計測する。(累積高さ±25mm)		
		A	水平材の間隔 又はフック高さ (c)	±10	鋼製巻尺で測定する。		
		A	対角長の差 (d)	20	鋼製巻尺で測定する。 ($d = d_1 - d_2 $)		
		A	水平材の長さ (e)	±10	鋼製巻尺で測定する。		
		A	水平材の幅 (f)	BH<0.5 ±2 0.5≦BH<1.0 ±3 1.0≦BH ±4	鋼製巻尺で測定する。 B: フランジ幅(m) H: 腹板高(m)		
		B	ガイドローレル間隔 (g)	±10	鋼製巻尺で測定する。		
		A	ガイドローレル高さ (h)	±10	高さ20mごとにトランシット、鋼製巻尺で計測する。(累積高さ±25mm)		
		B	ガイドローレル取付位置距離 (i)	±10	鋼製巻尺で測定する。		
		B	支柱の真直度 (j)	20	鋼製巻尺、ピアノ線等で測定する。		
		A	ガイドローレル (k)	20	真直度 (k _s)	金属製直尺、ピアノ線等で測定する。	
				3mm/m	平面度 (k _f)	直定規、すきまゲージで測定する。	
		B	休止架台の幅・長さ (n)	±5	鋼製巻尺で測定する。		

測定箇所標準図	摘要
<p>2. 整流板</p>	
<p>3. 取水塔</p>	

工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準	
水門設備 2. ダム用水門設備 (6) 円形多段式ゲート (掘付)	1. 扉体	A 扉体高さ (a)	± 10	鋼製巻尺で測定する。	
		A 扉体内径 (b)	D<1.5 ± 5 1.5≤D≤3.0 ± 15 3.0<D ± 20	鋼製巻尺で測定する。	D : 径 (m)
		A 扉体補強リング外径 (c)	D<1.5 ± 5 1.5≤D≤3.0 ± 15 3.0<D ± 20	鋼製巻尺で測定する。	D : 径 (m)
		A 扉体補強リング間隔 (d)	± 10	鋼製巻尺で測定する。	
		B ガイドローラ間距離 (e)	± 5	対角ガイドローラレール間距離との干渉を確認する。	
		A ガイドローラから扉体下端までの距離 (f)	± 10	鋼製巻尺で測定する。	
		B 水密ゴム押えボルトPCD径 (g)	D<1.5 ± 5 1.5≤D≤3.0 ± 15 3.0<D ± 20	鋼製巻尺で測定する。	D : 径 (m)
		B ストッパから扉体下端までの距離 (h)	± 10	鋼製巻尺で測定する。	
	B 制水蓋と下段扉底部との取合い寸法 (m)	± 5	鋼製巻尺で測定する。 (下段扉側/制水蓋側)		
	2. 整流板	A 整流板形状 (a)	± 5	鋼製巻尺で測定する。	
		A 整流板外径 (c)	± 10	鋼製巻尺で測定する。	
		A 整流板中心からガイドローラ中心までの距離 (d)	± 5	鋼製巻尺で測定する。	
		B シープの間隔位置 (e)	± 5	鋼製巻尺で測定する。	
		B 整流板及び上段扉の各連結の位置 (f)	± 3	鋼製巻尺で測定する。 干渉を確認する。	
B 整流板と取水盤の間隔 (g)		± 10	鋼製巻尺で測定する。		



工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準
水門設備 2. ダム用水門設備 (6) 円形多段式ゲート(掘付)	3. 取水塔	A 支柱間隔 (a)	±10	鋼製巻尺で測定する。
	A 水平材の間隔 (c)	±10	鋼製巻尺で測定する。	
	A 対角長差 (d)	20	鋼製巻尺で測定する。 ($d = d_1 - d_2 $)	
	B ガイトローレル間隔 (g)	±10	鋼製巻尺で測定する。	
	A ガイトローレル高さ (h)	±10	高さ20mごとに測定する。(累計高さ±25mm)	
	B 支柱の真直度 (j)	20	金属製直尺、ピアノ線等で測定する。	
	A ガイトローレル真直度 (k_s)	20	金属製直尺、ピアノ線等で測定する 平面度は工場仮組立時のみとする。	
	B 塔頂の水平度 (θ)	10	レベルで測定する。	
	B 塔頂の標高 (m)	25	レベルで測定する。	
	B 休止架台の幅・長さ (n)	±5	鋼製巻尺で測定する。	



工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準
水門設備 2. ダム用水門設備 (6) 円形多段式ゲート(掘付)	4. 全体設備	掘付基準線から取水塔中心までの距離 (a)	± 5	鋼製巻尺で測定する。
	B	底部戸当り標高 (b)	± 5	レベルで掘付基準点から測定する。
	B	扉体全伸長 (c)	± 10	鋼製巻尺で測定する。
	B	開閉装置掘付標高 (d)	± 10	レベルで掘付基準点から測定する。
	B	掘付基準線から開閉装置基準線までの距離 (e)	± 5	鋼製巻尺で測定する。

測定箇所標準図	摘要
<p>4. 全体設備</p>	

(7) 開閉装置

工 種	分類	項 目	管理基準値 (mm)	測 定 基 準
水門設備 2. ダム用水門設備 (7) 開閉装置 (製作)	1. ワイヤロープワイチ式	①河川・水路用水門設備 (製作)	(5)	開閉装置 1. ワイヤロープワイチ式による。
	2. ラック式	①河川・水路用水門設備 (製作)	(5)	開閉装置 2. ラック式による。
	3. セントラル式	①河川・水路用水門設備 (製作)	(5)	開閉装置 3. セントラル式による。

測 定 個 所 標 準 図	摘 要

工 種	分類	項 目	管理基準値 (mm)	測 定 基 準
水門設備 2.ダム用水門設備 (7)開閉装置 (据付)	1. ワイヤロープウインチ式	①河川・水路用水門設備 (据付)	3.	開閉装置 (1) ワイヤロープウインチ式による。
	2. ラック式	①河川・水路用水門設備 (据付)	3.	開閉装置 (2) ラック式による。
	3. スピンドル式	①河川・水路用水門設備 (据付)	3.	開閉装置 (3) スピンドル式による。

測 定 個 所 標 準 図	摘 要